

2020年 3月 2日

あきる野市教育委員会

教育長 私市 豊 殿

あきる野市民連合・教育問題部会

代表 雨滝 洋介

## 安倍首相の全国一律休校の要請に対する要望

安倍首相は、2月27日（木）新型コロナウイルス対策として「全国のすべての小・中学校、高校、特別支援学校について、3月2日から春休みに入るまで臨時休校を行うよう」要請しました。これを受けて文部科学省は、28日付けで「3月2日から春季休業の開始日までの間、学校保健法に基づく臨時休業を行うようお願いします」とする事務次官通知を出しました。

全国の学校現場、保護者の間に大混乱が生じています。学校現場からは、「学年末の大切な時期どうしたらよいか」「残りの学習はどうすればよいか」「卒業式、入学式をどうしたらよいか」など様々な疑問、不満が出ています。保護者からも「仕事を休むことができない」「休業した場合の収入減で生活が困難になる」などの不安の声が上がっています。要請通り休校を実施するとしたら、どのような対応をするのでしょうか。以下要望します。

### 記

- 1、本来、学校の休業は、教育委員会に決定する権限があります。インフルエンザなどの学級閉鎖、学校閉鎖の場合も校医の意見を聞き判断しています。今回の決定はどのような専門家の意見を聞いたのですか。全校休校にする意味、感染拡大防止効果などを市民に説明をしてください。
- 2、全国一律の休校ではなく、あきる野市の実態に応じ期間を決定するなど対策を講じてください。
- 3、仕事が休めない保護者のために
  - ①学童保育の開業については、指導員を必要数確保するなど、子どもの安全と新型コロナウイルス感染拡大防止に万全の対応をとってください。
  - ②子どもが家で過ごすことが困難な場合、学校で過ごすことができるような対応を検討してください。
- 4、卒業式など、保護者、子ども希望を十分に生かし、しかも安全に配慮したものにするよう検討してください。
- 5、3月の未実施の学習について、教師や子どもに過重な負担を強いることの無いようにしてください。
- 6、保護者の休業に対する補償や保護者の負担増に対する対策を確立してください。

以上